

大館神明社祭典　9月11日

2026-2027年度 国際ロータリー第2540地区

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

October 2026 10

vol.04

ロータリー特別月間 10月

地域社会の経済発展月間

Rotary 第2540地区

持続可能なインパクトを生み出そう

2026-2027年度 ガバナー　土舘　守

2026-2027年度 国際ロータリー会長　オラインカ・ハキーム・ババロラ

目次

ガバナーメッセージ…… 2
第２回RYLAセミナー実施報告 …… 3
RLIラーニング・セミナーPARTI開催報告…… 4
各クラブ例会時においてRLIの説明(卓話)に伺います！ 5
ガバナー公式訪問 秋田東RC …… 6
ガバナー公式訪問 横手南RC …… 6～7
ガバナー公式訪問 五城目RC …… 8～9
ガバナー公式訪問 秋田西RC …… 10～11
ガバナー公式訪問 湯沢RC …… 11～12
ガバナー公式訪問 秋田中央RC …… 13
グローバル補助金報告…… 14
米山記念奨学会寄付者…… 15
新会員紹介…… 16
物故会員…… 17
2026年８月会員数の増減 …… 18

Rotary 第2540地区

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2540地区
2026-2027年度ガバナー

土　舘　　守（大館ロータリークラブ）

「国際ロータリー第2540地区は、世界中のロータリアンから注目されているよ。」9月のガバナー会で中谷RI理事から言われました。2024年1月のRI理事会で、地区再編の勧告を受けた7地区の内、海外の5地区は合併。日本の第2830地区は目標クリア。残る第2540地区が2027年1月1日に1,100名の目標をクリアできるかどうか、国際ロータリーの理事会では、話題になっているとの事です。もし第2540地区が1,100名を維持できなければ、RI理事会は、地区の会員数を引き上げる可能性があるとの情報です。他の地区にも影響を与えますので、「地区の定数増を阻止するためにも、絶対に1,100名は維持して欲しい。」と強く求められました。

第2540地区の1,100名維持は、当地区だけの問題ではありません。世界中の地区に影響を与える事態となりました。ロータリアンの皆様、是非、最後の最後まで諦めず、会員維持増強をお願いいたします。

公式訪問も残り僅かとなりました。県内各地を訪問させていただきましたが、行く先々で温かい歓迎を受け、ガバナーとして至福の喜びを感じております。会長・幹事さんと面談させて頂いておりますが、会員増強や例会の出席率の向上など悩みは多種多様です。

私のささやかなアドバイスをさせて頂きました。また、素晴らしいアイデアや、奉仕活動にヤル気溢れる新会員の姿勢に、感心する事も沢山ありました。例会で、ご飯やみそ汁は自分で盛り付けするクラブなど、予想外のクラブもありました。皆さん個性満載のクラブで、訪問するのが楽しみです。

秋になりますと、地区もクラブもイベントが沢山あります。沢山の奉仕活動に参加され、充実したロータリーライフを楽しんでください。皆様にとって、実りある秋になりますようご祈念いたします。

Rotary 第2540地区

第2回 RYLAセミナー実施報告

青少年奉仕委員長　**佐野　元彦**
（秋田ロータリークラブ）

【開催日時】　2026年8月22日(土)　12:50～16:15

【開催場所】　秋田市拠点センター「アルヴェ」2階
多目的ホール

【参 加 者】　総勢49人

・インターアクター 16人
（平成高校14人、秋田令和高校2人）
・米山奨学生 2人
・秋田ローターアクトクラブ会員 2人
・インターアクトクラブ顧問教諭 2人
・ロータリークラブ会員 26人
・講師 1人

【内　容】

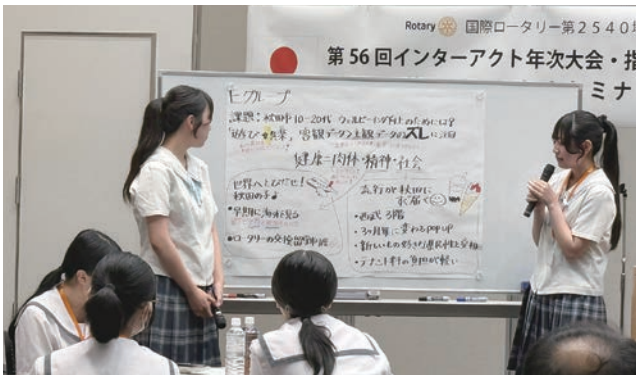
・秋田大学教育文化学部副学部長　和泉　浩教授の「ロジカルシンキングと地域のウエルビーイング向上」と題する講話。
・６グループに分かれて、デジタル庁作成の地域幸福度指数を参考にして、自身の居住地域（横手市・秋田市）の指標項目を選定し、その幸福度を向上するための具体的な方策を議論し、論理的に分かり易く説明するための発表資料を作成。
・発表資料に基づき各グループが発表。
参加者の挙手により、Eグループが最優秀賞を獲得。地区大会で表彰することにした。

【成　果】

・高校生、大学生・30代の青年、シニアのロータリアンが各グループに混ざり合うことで、多様な感性・価値観にお互いが触れ合うことができ、参加者にとって有意義なセミナーであった。

【課題と改善点】

・参加募集期間が短く青少年の参加が少なかった。次年度はロータリー年度開始の7月より前に企画を固め、募集開始を早めることが必要。
・RID2540として固定化したセミナー内容の検討が必要。









RLIラーニング・セミナー PARTⅠ 開催報告書

RLI委員長　桑原　透
（秋田ロータリークラブ）



2026年9月13日（日）9時20分から秋田テルサにて、今年度RLIラーニング・セミナーPARTⅠを25名（当日1名欠席の為）が参加して開催しました。

当地区単独開催5年目を迎え、PARTIからPARTⅢまでを9月、11月、翌年3月に開催しますが、その第1弾として開催しました。

ファシリテーター17名によって、セッション1～6を各セッション50分で6時限にわたって受講いただき、無事25名全員がPARTⅠを修了することが出来ました。（卒業者3名）

開会式では土舘守ガバナーの挨拶と、委員会からRLIの趣旨と当日の流れの説明を行なった後で、5会場に分かれて各セッションに取り組んでもらいました。ロータリー歴の長短に関わらず、知っていることや知らないことを各人が実感して、自分が所属するクラブが実践していることや実践していないこと、新しく変化するロータリーについて気づきを得る機会になったであろうと考えます。

加えて、他クラブの会員と名刺交換や意見交換しながらより良い交流が出来たと思います。

受講くださった皆様には、丸一日の受講で大変お疲れのことと推察しますが、当日記してくださった参加評価書の感想では概ね充実して楽しかったとのお答えで、我々委員やファシリテーターも安堵した次第です。

この後も、PARTⅡを11/15に、PARTⅢを翌年3月に開催します。

受講者の皆様がより楽しく充実したセミナーだったと感じてもらえるよう、各回の開催前にファシリテーターの養成研修を行なって準備を万全に整えています。

RLIラーニング・セミナーを受講することで、ロータリーの基礎を知るクラブ会員が増え、自分たちのクラブを今以上に明るく楽しく活性化しながら、結果として会員維持や強いクラブづくりが出来るものと信じて、多くのクラブ会員へ受講をご推奨くださるよう、クラブ会長の皆様のお力添えを強くお願いします。

当地区が多くの個性溢れるクラブやロータリアンで満ち、ロータリーの目的に沿って地区内全クラブが地域に尚一層貢献し続けるためにも、RLIを是非活用してください。





各クラブ例会時においてRLIの説明（卓話）に伺います！

RLI委員長　桑　原　　透
（秋田ロータリークラブ）

当委員会では、RLIラーニング・セミナーについて地区内全クラブ会員への周知と受講を促すことと、各クラブにおける会員研修事業としての採用をお願いする目的で、クラブの例会へお伺いしてRLIを説明させていただきたい旨のご案内を差し上げたところ、現在8クラブからご要請をいただいております。

本活動は、2023-2024年度から開始して2024-2025年度までの2年間で地区内40クラブ中33クラブへ伺っております。

2025-2026年度は残念ながら要請がなかったものの、今年度は再びご要請いただいたことに深く感謝しています。

今のところ、8月7日（金）の本荘クラブを皮切りに、8月17日（月）は秋田東クラブ、8月20日(木)は能代白神クラブ、9月3日（木）は十和田秋田クラブ、9月9日（水）は大館クラブ、9月15日(火)は大館南クラブ、10月6日(火)は花輪クラブ、11月20日(金)は秋田港クラブの例会へお伺いして卓話の時間を頂戴し説明を行なっております。

RLIラーニング・セミナーは、ロータリーの基礎を知ることと他クラブ会員との交流が出来ることばかりでなく、会員維持やクラブ活性化に大いに役立ちます。

当地区が多くの個性溢れるクラブやロータリアンで満ち、ロータリーの目的に沿ってすべてのクラブがそれぞれの地域において尚一層貢献するためにも、是非とも本セミナーをご活用いただきたく存じます。

今年度のRLIラーニング・セミナーは、PARTⅠを9月13日（開催済み）、PARTⅡを11月15日、PARTⅢを2027年3月に秋田テルサにて開催します。

残り32クラブの皆様からもご要請いただければ喜んでお伺いしますので、どうぞお気軽にガバナー事務所へお申し出くださいますよう宜しくお願いします。



ガバナー公式訪問報告

秋田東ロータリークラブ

ガバナー　**土舘　守**

8月24日（月）「ホテルメトロポリタン秋田」にて、秋田東ロータリークラブの公式訪問を行いました。

お盆明け、私の地元のお祭り明けの第1号で、緊張しながら先ずは会長幹事面談に臨みました。

クラブ会長の悩みの種は、例会の出席率がなかなか向上しない事にあるようです。仕事が忙しく、常時欠席する会員にどうお声がけしたらよいか、悩んでおりました。例会の卓話の依頼や、週報にコラムを書いてもらう等のアドバイスをさせて頂きました。

また、外部講師への卓話依頼が活発で、月1.5回は依頼して、会員拡大につなげたいと頑張っておられました。

会長幹事は新会員3名増強を目指しているものの、一般会員に危機感が無いので、卓話では地区が合併になると、不便な事が沢山発生する事を強調しました。奉仕活動は活発で、子供食堂や栗田支援学校に備品を提供して、地域に奉仕するロータリーを体現しておりました。

秋田東ロータリークラブからは、地区財団委員長に、平澤孝夫パストガバナー、そして渡部羊三地区財団補助金委員長を輩出してもらい、地区として助かっております。

そして秋田ロータリークラブに次ぐ会員数の多いクラブだけに、これからも意欲的に会員拡大を目指し、地域への奉仕をお願いしたいと思います。

横手南ロータリークラブ

幹　事　**寺田　創**

8月25日、松與会館にて土舘守ガバナー、中川義徳ガバナー補佐、中川義明地区会計長をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立つ会長・幹事面談では、会員69名、平均年齢59歳という当クラブの現況と、世代を越えて親睦を深めながら奉仕活動を継続していることを報告しました。

一方、現役世代の例会出席、会員増強、青少年交換や米山奨学生世話クラブへの取り組み、ロータリー財団への寄付、公共イメージ向上などについて率直に意見交換を行いました。

土舘ガバナーからは、今年度入会した3名に加え、さらに一人でも多く会員を増やすこと、会員が参加しやすい例会のあり方を見直すこと、地区SNSを活用することなど、具体的なご助言をいただきました。青年会議所（JC）・商工会議所青年部（YEG）との交流を会員増強につなげる取り組みについても話し合いました。

例会では、地区スローガン「初心の感動を忘れず、地域と共に奉仕を実践しよう」のもと、会員増強、青少年奉仕、ロータリー財団、公共イメージの向上などについてご講話をいただきました。今回の公式訪問で得た学びを、今後のクラブ運営と地域に根ざした奉仕活動に生かしてまいります。

土舘ガバナーをはじめ、ご来訪いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

ガバナー公式訪問報告

ガバナー　**土舘　　守**

8月25日（火）横手市「松與会館」にて、横手南ロータリークラブの公式訪問を行いました。

新年度早々3名の新会員の勧誘に成功して69名と言う大所帯のクラブです。新会員が順調に入会しているせいか、平均年齢は59歳と比較的若いのが特徴です。年齢層が幅広いので、世代間の軋轢は有りませんか?と問いました所、「高齢会員が若い人たちのやり方に大変理解を示してくれているので助かります」と言っておりました。

退会者が少なく、例会の出席率も高いので運営は順調と思いました。秘訣を聞いたところ、役員間でオリジナルのGMAILを作成して意思疎通を図っているとの事です。

後は、幹事を経験した順番に5年後6年後に会長を拝命する事が決まっており、もめる事はないとの事でした。

台北華陽ロータリークラブとの友好クラブ事業に、資金負担は大変ですが会員数が多いのでやり繰りは問題ないとの事でした。

次年度は、横手ロータリークラブから岩佐さんがガバナーになりますので、地区のサポートをよろしくお願いして、和やかな雰囲気の内に公式訪問を終えることが出来ました。



2026-2027年度国際ロータリー第2540地区 ガバナー公式訪問　横手南ロータリークラブ 2026年8月25日

ガバナー公式訪問報告

五城目ロータリークラブ

会　長　**川村　公一**

8月27日(木)、土舘守ガバナー、佐々木松彦ガバナー補佐、同行者の戸嶋一之様(大館RC·地区副幹事)が五城目クラブの通常昼例会に公式訪問されました。

例会に先立ち、ガバナー、ガバナー補佐がクラブの活動状況について、川村会長、畑沢幹事(代理)から報告を受け、地区委員からの支援などについて意見交換が行われました。他クラブでの特色ある活動や会員増強の取り組みと意義などについて紹介がありました。

公式訪問のガバナー講話では、

①2026年国際協議会の研修で、ババロラ会長のメッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」の具現化の取り組みとして

②地区スローガン「初心を忘れず、地域と共に奉仕を実践しよう」の具体的取り組みとして、七つの活動重点項目を設定し

1) 職業奉仕を重視した会員拡大を図ろう
2) 例会の充実に、地区がもっと支援しよう
3) 公共イメージ向上を推進しよう
4) 行動計画を策定し、クラブを成長させよう
5) 青少年活動を積極的に支援しよう
6) ロータリー財団や米山記念奨学会の募金に協力しよう
7) 変化を恐れずに努力しようというクラブ運営の基本方針について、クラブ会員に紹介がありました。



記念写真

ガバナー公式訪問報告



会長幹事・面談

また、戸嶋地区副幹事からは、

1) 10月10日～11日に大館市のニプロハチ公ドームで開催される「きりたんぽ祭り」で、ロータリークラブで出展ブースを設けて、活動状況を広報する

2) 11月7～8日に大館市で「地区大会」が開催される諸行事の案内が紹介されました。

ガバナー公式訪問での講話を受け、地区活動と共に更なる五城目のクラブの特色あるインターアクトなど持続的な成長に向け、活動することを出席会員の皆さんで心に留めたところです。

ガバナー　土舘　　守

8月27日（木）五城目町の「グリーンホテル丸富」にて、五城目ロータリークラブの公式訪問を行いました。



ガバナー講話

五城目ロータリークラブの会員数は現在10名で、80歳代が4名、70歳代が4名、50歳代と40歳代が各1名となっております。高齢化が問題で、新会員の募集がままならないのが現状です。

街の衰退が大きく、これからの運営について、サラリーマンでも参加できるような工夫や、例会の卓話に地区役員をお願いしてはどうか、米山奨学生の卓話依頼などもアドバイスさせて頂きました。

小さいながらも奉仕活動はしっかり行われています。特に五城目インターアクトクラブと連動して、交通安全キャンペーンや清掃活動など、一生懸命頑張っておられました。

年齢層が高いだけに、川村会長も運営には悩んでおられましたが、少しでも参考になればとアドリブ一杯の卓話をさせて頂きました。



例会・点鐘



食後の懇談

ガバナー公式訪問報告

秋田西ロータリークラブ

会　長　**草薙　康平**

9月1日（火）、土舘守ガバナー、阿部一之助ガバナー補佐、布袋屋寛地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が実施されました。

当クラブからは私と佐野会長エレクトが参加し、会員数や活動状況について説明いたしました。

昨年度の当クラブの寄付状況について具体的な数字を確認し、改めて寄付の重要性を認識する機会となりました。

土舘ガバナーからは、職業奉仕を重視した会員拡大について、ご自身のお考えや他クラブの取組みの紹介を交え、ご指導をいただきました。

また、地域の皆様にクラブ活動を理解していただくため、積極的にSNSを活用して情報発信していくことの重要性についてもご指導いただきました。

今回の公式訪問でいただいたご指導を、今後のクラブ運営や活動にしっかりと活かしていきたいと思います。

会員一人ひとりがロータリーの魅力を改めて感じ、地域の皆様にもその活動を知っていただけるよう、より活気のあるクラブづくりに取り組んでまいります。



ガバナー公式訪問報告

ガバナー　**土舘　　守**

9月1日（火）「パーティギャラリーイヤタカ」にて、秋田西ロータリークラブの公式訪問を行いました。先ずは、草薙康平会長、佐野公彦会長エレクトとの面談。秋田西ロータリークラブは会員の入れ替わりが激しく、22人中18人が10年以内に入った会員です。その為、会員拡大には、退会防止が重要と認識していました。

ですから、今年度の地区スローガンは「入会時の動機を大切にする事は退会防止に役立つ」という事で、大いに共感して頂きました。更に、3人を目標に具体的なアプローチをしており、若い会員が多いだけに、勢いがあると感じました。

奉仕活動は、小、中、高校生を対象に、バドミントン教室を北都銀行バドミントン部と共催で実施しており、毎回盛況で、昨年は44名の参加があったそうです。

また、地区のロータリー米山記念奨学会には、地区委員長に清水俊明会員、理事に玉木修パストガバナーを出向してもらい、大変貢献していただいているクラブであります。

今後とも益々のご隆盛を期待しております。

湯沢ロータリークラブ

会　長　**上野　定之**

9月3日（木）湯沢ロータリークラブ例会場である湯沢グランドホテルに於いて、ガバナー公式訪問が行われました。

当日は土舘ガバナーの他に地区副幹事の宮越匡様（大館RC）にメークいただきました。

例会前に行われました会長幹事面談では、湯沢ロータリークラブの会員の状況、会員拡大活動、そしてクラブが取り組んでいる奉仕活動を報告させてもらいました。

その中で、当クラブが長年継続している高校生への奨学金に対し、特にガバナーが興味を持ってもらったような印象でした。

例会での講話では、RI会長との関係、RI会長メッセージの他、ガバナー自身の人となり、今年度の地区スローガンと地区活動方針（7項目）、地区内の会員の推移等のお話をいただきました。

当クラブとしてもクラブの活動計画書を基に例会の充実と、職業奉仕活動、国際奉仕活動、青少年奉仕活動を積極に行うと共に公共イメージの向上と会員拡大に取り組んでいきたいと思います。

当クラブは今年度70周年の節目を迎えます。会員一丸となって周年事業成功とクラブ内コミュニケーションの向上に努めます。今後ともよろしくお願い致します。

Rotary 第2540地区

ガバナー公式訪問報告

ガバナー　**土舘　　守**

9月3日（木）「湯沢グランドホテル」にて、湯沢ロータリークラブの公式訪問を行いました。今年10月には創立70周年を迎えますが、その時には70名の会員にしたいと上野会長は張り切っておりました。地区内では大人数のクラブですが、女性会員を増やしたいし、まだまだ伸びる余地があると頑張っております。

今年の目標としては、例会出席率のアップを掲げ、魅力的な外部からの卓話の充実、移動例会、さらには世代間のギャップの為の工夫など、さすが老舗のロータリークラブであると感じました。

それ以上に驚いたのは、奉仕活動が多岐にわたって実施されており、米山奨学生のスポンサー、ボーイスカウトの支援、子供食堂、高校生への奨学金など、まさにロータリーの奉仕活動を市民と共に一体となって活動しており、公共イメージの見本となるクラブであると思いました。70周年を期に益々発展する事を期待しております。



ガバナー公式訪問報告

秋田中央ロータリークラブ

幹　事　**吉田　　光**

2026年9月4日、ホテルメトロポリタン秋田に土舘守ガバナーと阿部一之助ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。例会の前に当クラブから阿部会長、土田副会長、丸谷会長エレクト、木場副幹事、幹事の私が出席して面談が行われました。

土舘ガバナーからは2026-2027年度国際ロータリーのテーマについて、国際ロータリー第2540地区2026-2027年度地区方針についてお話をいただきました。特に第2540地区の会員数が2027年1月1日時点で1100人を切ると他地区と合併となる事が決まっており、現状では大変厳しい状況なので一人でも二人でも会員拡大に注力して欲しいとの事でした。

また、今年度のポリオ絶滅キャンペーンについては「本場大館きりたんぽまつり」にブースを出展する事で広く市民の方にロータリーの活動をPRする旨の説明がありました。当クラブの活動においても公共イメージ向上推進の依頼がありましたが、内容によっては参加者の個人情報取り扱いに関して配慮を要する事の認識を共有しました。

阿部会長からは当クラブの活動方針の報告があり、昨今の物価高による支出の増加に伴い財務状況が厳しくなっている旨を相談しました。土舘ガバナーからはアメリカの物価高騰が日本にも影響を及ぼしており、我々の経済力を上げていく事で物価高を克服していくとの方針を示していただきました。そのために職業奉仕の活発化が一層重要となるとの事。秋田市には7つのロータリークラブがあり一部では多すぎるとの声もあるが、それぞれの特長を生かしたクラブ運営をして奉仕を実践すると良いとアドバイスをいただきました。

上記を踏まえ、より良いクラブ活動を進めて参ります。今後ともご指導の程どうぞよろしくお願いいたします。

ガバナー　**土舘　　守**

9月4日（金）「ホテルメトロポリタン秋田」にて、秋田中央ロータリークラブの公式訪問を行いました。

阿部会長は、クラブの会長と共に地区の国際奉仕委員長、並びにRLIの委員も務めていただいております。その前のロータリー米山記念奨学委員会委員長を含めると、2540地区に多大な貢献をしていただいております。

会員数は現在40名ですが、なかなか増やすことが出来ず、苦戦して居るとの事です。

また、退会防止に力を入れており、例会プログラムの充実に力を入れ、先ずは出席率のアップからと、目標を定めておりました。

奉仕活動も多岐にわたっていますが、逆に長期期間実施している事業が多く、新しい取り組みが出来ないのが悩みという事です。

更には、諸物価の高騰で予算が厳しくなり、年会費の値上げを検討中との事です。私からは、アメリカの物価の値上がりが激しく、人頭分担金の値上げはやむを得ない事情であることを説明しました。また、職業奉仕を通じて、会員の経済的基盤の確立を目指し、将来の会費値上げに耐えられるよう、会員が努力する必要性を訴えました。

今年35周年を迎える秋田中央ロータリークラブですが、松浦新パストガバナーをはじめ、立派なロータリアンを輩出しており、年数以上に活躍されているクラブであると感じました。

グローバル補助金報告

ロータリー財団グローバル奨学生

千葉　菜穂子

大学院２年目の秋学期が始まり、早くも１週間が経ちました。夏休みは比較的ゆっくり過ごしていましたが、８月には移民の方々を対象としたフリースクールでボランティア活動に参加しました。学生たちと会話をしながら活動する中で、アメリカの地理をテーマに学ぶ機会もあり、私自身にとって良い経験となりました。

新学期が始まってからは、午前中は主に教育実習の授業に参加し、インターナショナルスチューデントにアカデミック・ライティングを教えています。基本的な品詞や文法事項に加え、APAスタイルなど、大学で論文を書く際に必要となる基本的な書き方についても指導しています。学生によって英語力や得意・不得意が異なるため、それぞれに合った説明の仕方を考えながら授業に参加しています。

午後は、卒業課題として論文コースを選択しているため、自身の修士論文の執筆や研究を進めています。また、インターナショナルスチューデントを対象とした個別チュータリングも担当しています。授業については、月曜日にカリキュラム・アセスメント、火曜日に言語学、木曜日にリサーチメソッドを受講しており、いずれも16時25分から19時05分までです。授業が終わった後も、ほぼ毎日21時頃まで図書館に残り、論文作業を進める生活になりました。

現在の研究では、これまで地域の英語教室で収集してきたデータをもとに、難民・移民の方々への英語指導を教師たちがどのように行っているのか、また、その指導がどのような信念やこれまでの経験に基づいているのかを分析しています。地域に根ざした英語教育の実践について明らかにしていきたいと考えています。

10月には、カナダ・モントリオールで開催されるSLRF、アメリカ・オハイオ州で開催されるOHIO TESOL、そしてアメリカ・アリゾナ州で開催されるARIZONA TESOLの3つの学会に参加する予定です。研究と学会発表の準備が重なり、忙しい時期になりますが、限られた留学期間の中で一分一秒を大切にしながら、研究・教育の両面で多くのことを学び、少しでも成長できるよう取り組んでいきたいと思います。



米山記念奨学会寄付者

●米山功労者

横手ロータリークラブ



いわ さ　　のぶ ひろ
岩佐　信宏 会員

入会年月日・ロータリー歴・その他

2002年7月5日入会
2010年6月30再入会
米山功労者　2回目

横手ロータリークラブ



くろ まる　　ゆう へい
黒丸　雄平 会員

入会年月日・ロータリー歴・その他

2012年1月1日入会
米山功労者　1回目

大曲ロータリークラブ

たか　はし　　ゆう
髙　橋　　右 会員

入会年月日・ロータリー歴・その他

2007年1月入会
地区RI国際大会推進委員長　2011−2012年度
　　2025−2026年度
南区ガバナー補佐　2021−2022年度
地区補助金小委員長　2015−2016年度
クラブ幹事2012年度･会長2018−2019年度
米山功労者　14回目

新会員紹介

能代白神ロータリークラブ



冨岡（とみおか）　恒重（つねしげ） 会員

（８月20日 入会）

紹 介 者：太田たかね
勤 務 先：明治安田生命保険相互会社
役　　職：能代営業所 所長
ひとこと：色々とご指導ください。
　　よろしくお願いします。

湯沢ロータリークラブ



高橋（たかはし）　信雄（のぶお） 会員

（8月27日 入会）

紹 介 者：和賀幸雄
勤 務 先：株式会社　丸大工機商会
役　　職：代表取締役社長

物故会員

横手ロータリークラブ



飼田（かいた）　一之（かずゆき）会員

逝去年月日：2026年８月２日
享　　年：63歳
入会年月日：2009年７月１日

湯沢ロータリークラブ



小番（こつがい）　孝司（たかし）会員

逝去年月日：2026年９月２日
享　　年：96歳
入会年月日：1972年8月
1990～1991年クラブ会長
1999～2000年 地区ロータリーの友委員会委員長
2007～2008年 南区ガバナー補佐
2009～2011年 地区ロータリー財団・奨学・学友委員会副委員長

心よりお悔やみ
申し上げます



Rotary 第2540地区

2026年８月会員数の増減

グループ		クラブ名	会員数				増減
			2026年7月1日(A)	2026年8月末(B)	うち女性	うち40歳未満	増減数(B)－(A)
北	大館鹿角	大館	39	39	2	1	0
		花輪	19	19	1	0	0
		鷹巣	4	5	0	0	1
		大館北	12	12	2	0	0
		十和田秋田	24	24	1	0	0
		大館南	32	32	0	2	0
		大館中央	14	14	1	0	0
	能代男鹿	能代	51	52	9	1	1
		男鹿	8	8			0
		二ツ井	1	3	0	0	2
		五城目	10	10	0	0	0
		潟上	28	28			0
		男鹿北	6	6	0	0	0
		山本	11	11	0	0	0
		能代白神	12	13	5	0	1
中央	秋田	秋田	109	109	6	3	0
		秋田東	80	79	5	1	-1
		秋田港	37	37			0
		秋田北	58	59	4	0	1
		秋田南	40	43	3	1	3
		秋田中央	40	40	5	0	0
		秋田西	22	22	3	1	0
	本荘にかほ	本荘	36	36			0
		矢島	8	8	1	0	0
		象潟	9	9	1	0	0
		本荘東	20	20	3	0	0
		本荘南	6	6	3	0	0
南	大曲仙北	大曲	53	54	3	3	1
		角館	13	14			1
		大曲南	13	14	2	0	1
		大曲中央	12	12			0
		田沢湖	19	19			0
		大曲仙北	12	12	6	1	0
	横手	横手	52	50			-2
		横手南	69	69			0
		横手東	13	13	0	0	0
	湯沢羽後	湯沢	69	69	2	3	0
		西馬音内	16	16			0
		湯沢南	18	19	1	1	1
		稲川	16	16	4	0	0
合計			1,111	1,121	73	18	10

① 未提出のクラブはマイロータリー参照
② 女性会員・40歳未満の会員数は回答があったクラブのみの集計

Rotary 第2540地区
国際ロータリー第2540地区
2026-2027年度ガバナー
土舘　守

〈ガバナー事務所〉
〒017-0012　秋田県大館市釈迦内字家後29-13
TEL 0186-48-3561　FAX 0186-48-3591
E-mail：rid2540g26-27@ymail.plala.or.jp